

## 第1回大阪大学月面都市開発研究センター講演会の開催

広報・データ管理室（兼）月面都市開発研究センター

URA 森下 麻紗代

令和8年3月17日（火）に第一回大阪大学月面都市開発研究センター講演会が接合科学研究所荒田記念館にて開催されました。本講演会は当初、同日に開催される月面都市開発研究センター運営委員会の運営委員およびセンター員向けの勉強会の位置づけでしたが、貴重な講演を幅広い皆様に聞いていただこうと急遽一般公開したものです。昨年、月着陸ミッションを実施し、新聞・テレビで話題となった株式会社 ispace から講師をお招きし、月輸送・実証サービスの事業開発担当の佐藤崇徳氏が「ispace が目指す“シスルナ経済圏の構築”」、ミッション4プログラムマネージャーの田中健一郎氏が「ispace ミッションの振り返り：技術要因分析と後続ミッションへの取り組み」という演題で講演を行いました。シスルナ空間（地球と月の間の空間）で展開される資源開発、輸送、通信、エネルギー供給などの産業活動は、まさに月面都市開発研究センターが目指す月面での生活や安定的な経済活動の確立に大きく寄与するものです。また、ミッションの振り返りの中での失敗分析、そして次回に向けてよりアップグレードされたランダーの開発状況など、月に着陸できる未来はもうすぐそこまで来ているのだということを感じさせる講演でした。対面だけの講演会にも拘わらず、84名の様々な年齢層の参加があり、月面・宇宙へ夢をはせる方が多いことにも驚かされました。

令和8年4月1日より、月面都市開発研究センターは産業科学研究所の附属センターから外れ大阪大学先導的学際研究機構（OTRI）附属センターとして、全学組織に移行することになりました。この早い時期での移行は、接合科学研究所をはじめとした月面都市開発センターに所属する研究者が優れたシーズをもとに民間企業や宇宙ビジネス関係者との連携を進めつつ、国家プロジェクトへの共同申請を行い続けた結果もたらされたものです。月面都市開発研究センターは今後も優れた研究を行いつつ、このような講演会やシンポジウムを通して最先端の宇宙ビジネスや宇宙にかかる優れたシーズや研究成果を報告していく予定です。



参加者の様子



講演の様子